

愛媛保険医新聞 号外

採択願 子宮頸がんワクチン公費助成

松山市議会

愛媛県保険医協会 請願書提出

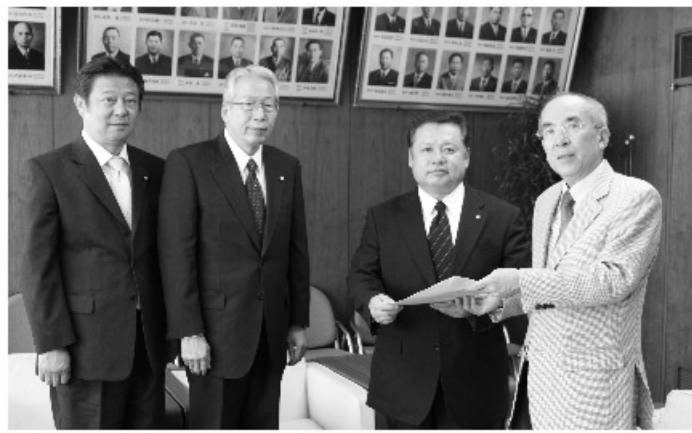


5月20日 田坂議長へ要請する越智副会長

愛媛県保険医協会は、「子宮頸がんワクチン公費負担」「乳幼児の細菌性髄膜炎に対するヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチン公費助成、定期接種を求める」「高齢者への肺炎球菌ワクチン公費助成」について陳情並びに意見書採択を愛媛県内自治体に要請を行ってきた。

5月20日、松山市議会最大会「松山維新の会」池本俊英会長、田坂進一副会长、宇野浩幹理事長への要請行動を越智邦明副会長が行いました。松山市議会では、2009年6月の定例議会において「子宮頸がんワクチンの公費負担を求める意見書」がすでに採択され、同月国への意見書が提出されています。子宮頸がんは20〜30歳代の女性がん死因の第一位であることから、「子宮頸がんワクチンの公費負担」を求める請願書を愛媛県保険医協会会長藤田敏博名で提出することとなりました。

6月の松山市議会市民福祉委員会では、ワクチン公



左から 宇野幹事長 田坂議長 池本会長 越智副会長

費助成によってがん死亡患者の減少が期待できることから多くの議員が賛同する一方、副作用を心配する意見もあり、当協会が求める「集団接種」ではなく任意での接種に対する助成を求める請願書を9月14日松山市議会事務局へ再提出しました。

10月4日に請願書採択にご尽力いただいた「松山維新の会」池本俊英議員宛てのお礼状（愛媛県保険医協会会長藤田敏博名）を携え松山市議会田坂進一議長、池本俊英会長、宇野浩幹理事長を訪ね正副議長応接室へ越智副会長、事務局の2名が訪問しました。

当協会の請願書が松山市議会で採決いただいたことを感謝するとともに市議会の見識の高さに敬意を表します。

子宮頸がん予防助成の請願採択 松山市議会

松山市議会市民福祉委員会は17日、10代前半の女子に対し子宮頸がんワクチン（けい）を公的助成で接種するよう求める県保険医協会（藤田敏博会長）の請願を賛成多数で採択した。9月定例議会最

終日の27日の本議会で「だ」として継続審査を最大党派・松山維新の会などの賛成で採択される見通し。

委員会では中村嘉孝氏（社民）が「（ワクチン接種だけでなく）検診や教育、周知啓発にも取り組んでほしい」と述べ、松岡芳生氏（新風・民主連合）は「国の動向もあり、しばらくは研究が必要」と述べた。

市保健予防課によると、1学年規模で全額助成した場合の予算は1億円超で「現在は白紙。（本議会で採択されても）国が有効性や安全性を検証している状況であり、動向を注視したい」としている。

（清家俊生）

2010年9月18日 愛媛新聞

日本のワクチン行政の後進性は目を疑うほどです。愛媛県下の他の自治体議

会においても採択されますよう切望致します。

副会長 佐々木 典彦

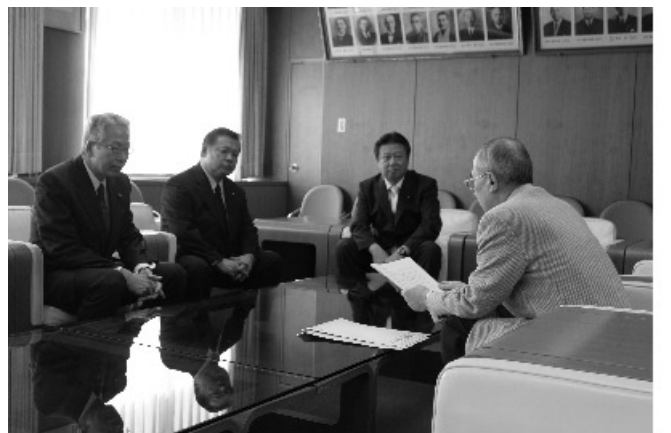
越智副会長から子宮頸がんワクチン公費助成の採択によって松山市の多くの女性が子宮頸がんの恐怖から解放され、県下の他の自治体にも議論が前向きに進んで欲しいと願っている中で、松山市議会での採択は、他自治体へ多大な影響力を与え公費負担の推進力になる松山維新の会池本俊英会

た。

9月17日、10代前半の女子に対して子宮頸がんワクチンを公費助成で接種するよう求める請願が松山市議会市民福祉委員会において賛成多数で採択され（9月18日付愛媛新聞転載）27日の9月定例議会の本会議で正式に採択されました。

10月4日、10代前半の女子に対して子宮頸がんワクチンを公費助成で接種するよう求める請願が松山市議会市民福祉委員会において賛成多数で採択され（9月18日付愛媛新聞転載）27日の9月定例議会の本会議で正式に採択されました。

10月4日、10代前半の女子に対して子宮頸がんワクチンを公費助成で接種するよう求める請願が松山市議会市民福祉委員会において賛成多数で採択され（9月18日付愛媛新聞転載）27日の9月定例議会の本会議で正式に採択されました。



10月4日 正副議長室

長との、の英断を讃える趣旨のお礼状を読み上げ感謝の意をお伝えしました。

県都松山市において請願書が採択されたことは、長年にわたる愛媛県保険医協会の活動が認知され、市民権を得たと自負しています。厳しい医療情勢の折、愛媛県保険医協会の求める「国民の医療充実」と「開業医の生活と権利を守る」活動はさらに重要で不可欠な事になると思われます。旧倍のご支援を賜りますようお願い申し上げます。